

# ひまねき

警固屋学園通信  
第84号  
29.9.4  
発行

## 地域に生きる・・・職場体験学習

八月二十三日（水）～二十九日（火）までの土日を除く五日間、呉市内の全中学二年生が職場体験学習を行いました。

警固屋学園の八年生も警固屋地域の各事業所にご協力いただいて、無事に体験をすませることができました。

慣れない場所での初めての体験に、緊張し、とまどっていた八年生でしたが、事業所の皆さんの温かい眼差しに見守られながら、少しずつ緊張がほぐれていったようです。今回は、「夢を叶えるために必要な力は何かを考える」ことをテーマに体験に挑みました。実際に仕事をし、事業所の方々とふれあう中で、自分に照らし合わせて考えることができたようです。地域の皆様、事業所の皆様、本当にお世話になりました。



## 八年生の感想より

◇働くことは、「喜怒哀楽」だということ  
がわかりました。実際に働く中で、泣くこともあるし、その仕事をして楽しかったり、怒ったり、悲しんだりすることがあると感じたからです。



## 100%はあたりまえ

・・・マナー講座



七月十九日、職場体験学習に備えて、八年生は事前に「マナー講座」を行いました。呉阪急ホテルの加良さんに来ていただいて、「おもてなしの心」を学び、当日に挑んだのです。

## 夢や目標は早く持つ！

・・・キラビトに学ぶ

「夢を叶えるために必要な力は何か」を考えるために、八年生は七月二十日に宮原高校の二年生から話を聞きました。現在、高校で頑張っている自分の目標に向かって輝いている二人の先輩の話聞くことで、八年生は目標達成の大切さを知りました。



夢や目標は、できるだけ早く持つといいよ。それに向かって小さな目標をたて、一つずつクリアしていくといいよ。努力は必ず報われるよ。失敗してもそこから学べばいいんだよ。



## 地域で防災・・・避難体験

七月二十二日から二十三日にかけて、警固屋体育館・警固屋まちづくりセンターで宿泊しながらの避難所体験がありました。この行事に警固屋学園の小学生二十二名、中学生十二名が参加しました。

段ボールで休息・就寝スペースを作ったり、ヤクルトグループの出前授業「ウン知育教室」で「ウンチと健康のお話」を聞いたりしました。夕食にはカレーを作ったり、翌日の朝食では、牛乳パックを燃やしてホットドッグを作ったりしました。

万が一災害が起きたときには、地域の方と協力して安全に避難することができるよう、備えていくことが大切です。警固屋学園でも、十一月二十八日に地域の方と合同で防災訓練を行います。ご協力よろしく願います。



## 六年生の感想より

◇ダンボールで家を作るのが楽しかったです。夕食を作るのとても大変だったけれど、おいしかったです。避難所体験に行って、実際に避難した時のことがよく分かりました。災害の時も、落ち着いて行動したいと思います。

## 芸術の秋へ・・・オーケストラ鑑賞会



八月三十日（水）

に、五年生が呉市文化ホールで行われたオーケストラ鑑賞教室へ行きました。呉市内の他校の五年生と一緒に、広島交響楽団のすばらしい演奏を聴きました。

体験コーナーでは、横山君が指名され、指揮者の体験をしました。横山君は、たくさんのお客さんの前ではきはきと質問に答え、堂々と指揮をすることができました。

体験後、彼は「自分の好きな曲もあったし、指揮もできて最高でした。」と話していました。五年生にとって、貴重な体験となりました。

## 五年生の感想より

◇小さな楽器でもいろいろな音が出るのです。いろいろな音が、弦楽器は、弓でも手でも演奏して、たのびっくりしました。

◇オーケストラの人達は、指揮者に合わせて速くしたり、遅くしたりして演奏していました。横山君が指揮をしたときには、オーケストラの人が横山君の指揮棒に合わせてくれていたので、おもしろいなと思いました。



お点前披露



7. 17お茶会にて

## 《編集後記》

ツクツクボウシの鳴き声が聞こえてきました。夏の終わりのご挨拶ですね。ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。